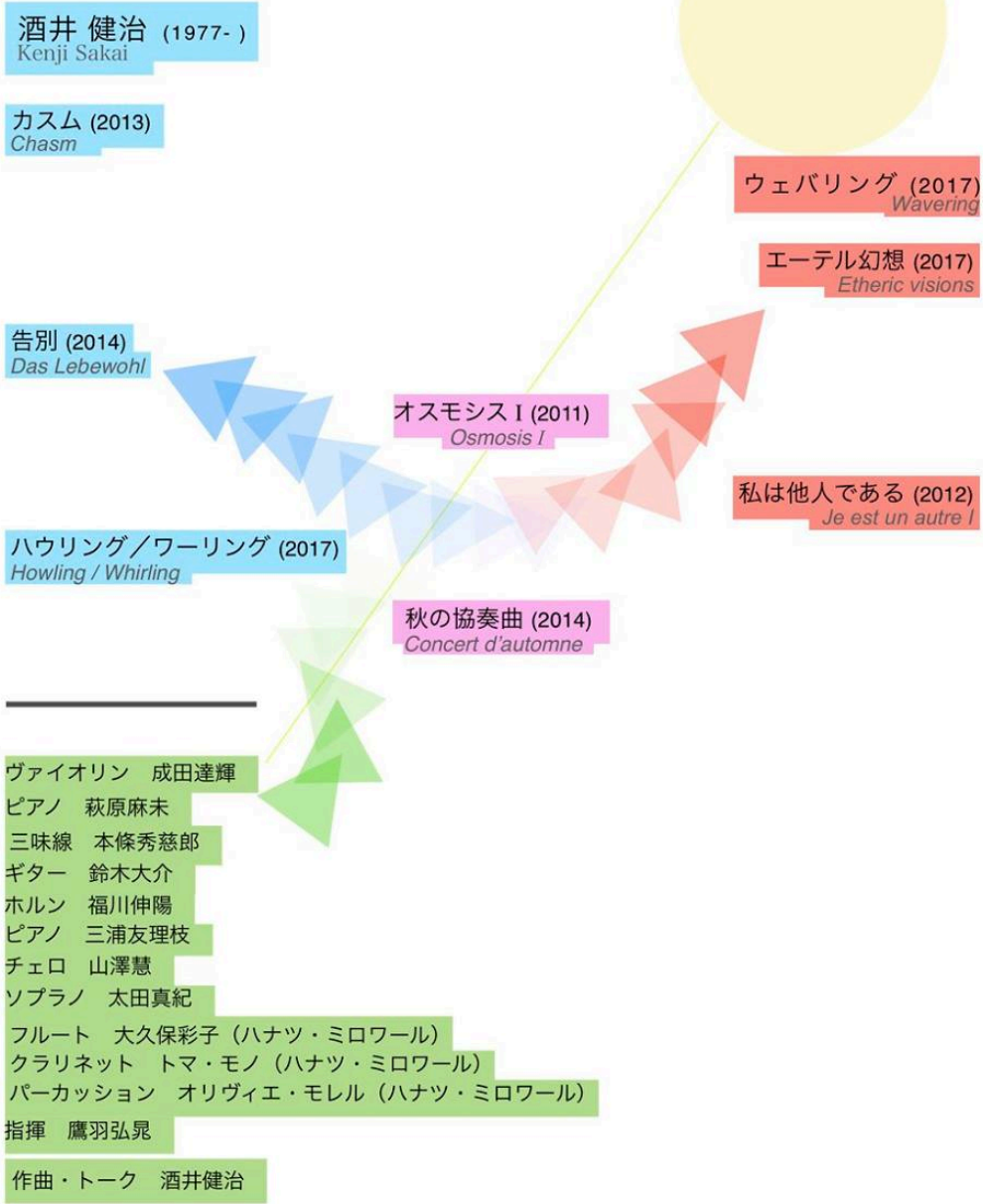


酒井健治プロデュース公演 #02b  
**Gala – 日本帰国記念巡回個展**  
 K's Blue Production presents  
**Gala - Portrait of Kenji Sakai**



**2018年8月10日 (金) 東京オペラシティリサイタルホール 19:00開演 (18:30開場)**

【チケット料金】  
 3,000円 (全席自由)  
 未就学児の入場はご遠慮ください。

【チケット取扱】  
 東京オペラシティチケットセンター Tel: 03-5353-9999  
 (電話受付時間: 10:00 - 18:00)  
 チケットぴあ Tel: 0570-02-9999 (音声自動応答・Pコード: 118-093)  
<http://t.pia.jp> (PC & 携帯)

【お問い合わせ】  
 株式会社AMATI Tel: 03-3560-3007 (平日お問い合わせのみ)

主催: K's Blue Production  
 協力: 株式会社AMATI、ナヤ・コレクティブ  
 助成: 芸術文化振興基金助成事業 sacem SPEDIDAM Grand Est



京王新線「初台駅」東口 徒歩1分 (京王線相互乗り入れ都営新線にて新宿から2分)  
 リサイタルホールは、東京オペラシティビル地下1階にございます。



2015年9月に初めてプロデュースした公演を故郷である兵庫県宝塚市で立ち上げてから二年が経過した。17年というこれまでの人生の半分近くを欧州で過ごした後、母校である京都市立芸術大学で教鞭を執るために日本へ帰国した事を記念しての今回の個展となる。フランス・ストラスブールを拠点に欧州で活躍を繰り広げる現代音楽アンサンブル、ハナツ・ミロワールを招聘し、ベガホールを皮切りにコンポーザーインレジデンスを現在努めている名古屋フィルハーモニー交響楽団の拠点である愛知県芸術劇場、それから著名な賞を初めて受賞した場所、東京オペラシティと僕のこれまでの活動と深い関わりのあるコンサートホールを今回のツアーを行う会場として選んだ。

東京公演では日本を代表する若手奏者達がこれまで初演してきた今まで僕の作品群が一気に披露されるが、理解が難しいため限られた聴衆への対象とした小規模になりがちな現代音楽の公演に一石を投じる意味を込めて「Gala」と名付けたのである。

酒井健治 (作曲家・コンサートプランニング「K's Blue Production」主宰)



### 成田達輝 (なりた たつき)

2010年ロン＝ティボ国際コンクール第2位、あわせて「サセム賞」を受賞。

2012年にはエリザベート国際コンクール第2位及びビザイ賞を受賞。

国内外の指揮者、オーケストラと共演し高い評価を得るとともに、室内楽奏者としても活動を広げる注目の若手ヴァイオリニスト。ホテル・オーケストラ賞、出光音楽賞、上毛芸術文化賞受賞、道銀芸術文化奨励賞を受賞。酒井作品では、2013年に「芥川作曲賞」を受賞したヴァイオリン協奏曲の初演、及び2015年、同曲の全楽章を世界初演した。

使用楽器は、ストラディヴァリウス1711年製「Tartini」(宗次コレクションより貸与)。



### 萩原麻未 (はぎわら まみ)

2010年第65回ジュネーヴ国際コンクール(ピアノ部門)において、日本人として初めて優勝。

広島音楽高等学校を卒業後、文化庁海外新進芸術家派遣員としてフランスに留学。パリ国立高等音楽院及び同音楽院修士課程、パリ地方音楽院室内楽科、モーツァルト音楽院を卒業。

現在、日本、フランスを中心に各国で演奏活動を行っている。これまでに、スイス・ロマンダ管、南ドイツ放送管等の主要オーケストラと多数共演を重ねているほか、ヨーロッパ各地の様々な音楽祭に招かれている。



### 本條秀慈郎 (ほんじょう ひでじろう)

本條秀太郎師に師事し本條秀慈郎の名を許される。桐朋学園短期大学部卒業、在学中故村屋勝芳壽氏に師事。同大学講師。現代邦楽研究所修了。Accフェローによりニューヨークへ留学。第70回文化庁芸術祭新人賞。第25回出光音楽賞。第27回京都青山音楽賞賞山賞。第12回宇都宮エッセル賞受賞。坂本龍一の「asynC」に参加。文化庁文化交流使任命。世界各国でリサイタルやソリストとして国内外オーケストラと共演。邦楽ソリストとして酒井健治「Cantus」を2017年に初演。



### 鈴木大介 (すずき だいすけ)

作曲家の武満徹から「今までに聴いたことがないようなギタリスト」と評されて以後、現代音楽の初演や、アンサンブルやコンチェルトでの明晰な解釈力と洗練された技術によって常に注目を集める。

近年はジャズやタンゴ奏者との共演や、自作品を中心とするライブも行い、また編曲作品は録音コンサート共に好評で、他のギタリストにも提供し演奏されている。美術作品からインスパイアされた美術展でのコンサートも多く手がけている。



### 福川伸陽 (ふくかわ のぶあき)

NHK交響楽団首席奏者。第77回日本音楽コンクール ホルン部門第1位受賞。

ソリストとしてバドヴァ・ヴェネツィア管弦楽団、京都市交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団他多くのオーケストラと共演している。日本各地やアメリカ・ヨーロッパなどに数多く招かれており、「la Biennale di Venezia」「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン」「東京・春・音楽祭」などをはじめとする音楽祭にもソリストとして多数出演。

[www.nobuaki-fukukawa.com](http://www.nobuaki-fukukawa.com)



### 三浦友理枝 (みうら ゆりえ)

2007年英国王立音楽院修士課程を首席で修了。2001年マリア・カナルス国際音楽コンクールピアノ部門第1位。2006年リーズ国際ピアノコンクール特別賞。国内外のオーケストラと多数共演。エイベックス・クラシックスより6枚のアルバムをリリース。2016年第26回新日鉄住金音楽賞<フレッシュアーティスト賞>を受賞。



### 山澤慧 (やまざき わけい)

東京芸術大学附属高校、同大学を経て、同大学院を修了。第1回現代音楽演奏コンクール「競案XI」第1位、第24回朝日現代音楽賞受賞。現代音楽セミナー「秋吉台の夏」に講師として参加。音川健二、藤沢俊樹、河野文昭、西谷牧人、鈴木秀美、山崎伸子、Michael Kasperの各氏に師事。2017年9月より約1年間、文化庁新進演奏家海外派遣員としてフランクフルトにて研鑽を積む。藝大フィルハーモニア管弦楽団首席チェロ奏者。千葉交響楽団契約首席チェロ奏者。



### 太田真紀 (おおた まき)

東京混声合唱団へ所属した後、文化庁新進芸術家海外研修制度にてローマに滞在。

イザベラ・シュレンス財団、ケルン大学にてリサイタルを開催。ヌオヴァ・コンソナツァ・フォンダメンタ・フェスティバル(ローマ)、サントリー音楽財団サマーフェスティバル、いづみシンフォニエッタ大阪定期演奏会、

武生国際音楽祭、東京オペラシティリサイタルシリーズ「B→C」他に出演、活発な演奏活動を行っている。



### 鷹羽弘晃 (たかは ひろあき)

2001年桐朋学園大学作曲理論学科卒業。パリ・エコール・ノルマル音楽院作曲科Diplome Supérieur取得。作曲のみならずピアノ演奏、指揮者としても活動中。これまでアンサンブル・ノマド、アール・レス・ピラン、日本音楽集団などに指揮で客演。酒井作品では「門〜マンドリンとピアノのための」(ピアノ演奏)、「ハイパーリンク」(和楽器と古楽器による「アンサンブル室町」の指揮)の初演に携わっている。



### HANATSUmiroir (ハナツ ミロワール)

HANATSUmiroir(ハナツミロワール)は現代音楽を主なレパートリーとし、拠点であるフランス、ストラスブールでのシリーズ公演に加え、ヨーロッパや世界各地において活動を展開している。現代音楽作曲家とのコラボレーションに力を入れており、現在までに多くの作品を委嘱、初演している。演奏家に加え、多種のビジュアルアーティストもメンバーに含み、コンサート形式だけでなく現代音楽舞台の製作も行い、ヴェネチア・ビエンナーレ、MUSICAなど多数の現代音楽祭に招待されている。

2018年10月には作曲家Samuel Andreyevの作品集CD Music with no edges をオーストリアのレーベルKAIROSよりリリース予定。現代音楽を通しての教育活動にも重点を置き、子供向けの公演や各種教育機関でのレジデンス音楽家としての活動の他、教育プログラムや教材の研究製作も多数行っている。



### 酒井健治 (さかい けんじ)

京都市立芸術大学にて学んだ後渡仏。パリ国立高等音楽院、ジュネーヴ音楽院を最優秀の成績で卒業後、Ircam(フランス国立音響音楽研究所)にて学び、2012年マドリッド・フランスアカデミーの会員に選出された。

リヨン国立管、ルツェルン管、ベルギー国立管、N響、京響、読響、レ・ヴァン・フランセ、アンサンブル・アンテルコンタンポラン等の著名な音楽団体、またシルヴァン・カンブラン、ジョナサン・ノット、ジョナサン・シュトゥックハマ、エドウィン・アウトウォーターや下野竜也等の指揮者によって作品が世界初演され、2017年名古屋フィルハーモニー交響楽団コンポーザー・イン・レジデンスに就任した。

武満徹作曲賞第一位、エリザベート王妃国際音楽コンクール大賞、文化庁長官表彰(国際芸術部門)、芥川作曲賞等々に受賞し、2015年にはローマ賞に選ばれた。今年度より京都市立芸術大学で教鞭を執っている。